

瀬戸内市立牛窓中学校体育館空調設備整備工事

瀬戸内市立邑久中学校体育館空調設備整備工事

瀬戸内市立長船中学校体育館空調設備整備工事

(設計施工一括発注方式)

事業者選定基準

令和8年6月

瀬戸内市教育委員会

第1章 総則

1 事業者選定基準の位置づけ

本書は、瀬戸内市（以下「市」という。）が実施する 瀬戸内市立中学校体育館空調設備整備工事（設計施工一括発注方式）（以下「本事業」という。）の事業者選定にあたり、最も優れた提案を審査し選定するための手順、方法及び選定基準を示すものである。

本書は、以下の文書と一体のものとして取り扱う。

「公募型受託事業者選定プロポーザル実施要領」

「要求水準書」

「実施要綱」

なお、本選定基準で使用する用語の定義は、実施要綱の規定による。

第2章 選定方法及び体制

1 選定方法

応募者から提出された提案書等について、本選定基準に基づき、事業実施体制、工期管理、空調設備の性能、学校現場への配慮、地域経済への貢献、価格等を総合的に評価し、総合評価点が最も高い事業者を選定事業者として決定する。

2 選定体制

市は、提案内容の審査に関して専門的見地から意見を得るため、「瀬戸内市立中学校体育館空調設備整備工事プロポーザル審査委員会」（以下「審査委員会」という。）を設置する。

審査委員会は、応募者の提案内容を評価し、優秀提案者及び次点提案者を選定し、市に報告する。

3 選定手順

選定は次の2段階で実施する。

- (1) 資格審査 実施要領に定める参加資格要件を満たすか書類審査により確認する。
- (2) 提案審査 資格審査を通過した応募者の提案内容を審査し、プレゼンテーション及びヒアリングを実施する。

提出書類に疑義がある場合、市は応募者に対し確認や追加資料の提出を求めることがある。

第3章 審査項目・基準・配点

1 資格審査

実施要領に定める参加資格要件を満たすか確認し、1つでも要件を満たさない応募者は失格とする。

なお、提出された書類に疑義がある場合には、応募者に対して内容の確認及び追加資料の提出等を求める場合がある。

2 提案審査

提案価格書及び提案書の内容を審査し、プレゼンテーション及びヒアリングを実施する。

(1) 提案価格の確認

提案価格が実施要領に定める各校の提案上限額以内であることを確認する。上限額を超える場合は失格とする。

(2) 基礎審査（要求水準の充足確認）

事業提案書の内容が、要求水準書に示す要求水準を満たしているか確認する。要求水準を

満たさない場合は失格とする。

(3) 加点審査 (内容点：275 点満点)

以下の項目に基づき内容点を付与する。

評価は、提案内容の具体性・実現可能性・妥当性・独自性を総合的に判断するものとする。

【審査項目及び配点】

(ア) 事業実施に関する評価 (計 65 点)

評価項目	評価の視点	配点	対応様式
事業実施基本方針・事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業の目的を踏まえた基本方針か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業務の目的の理解度 ➢ 体育館の利用を踏まえた空調性能の考え方 ➢ 技術とノウハウを活用した短期間導入 ● 確実な実施体制か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 総括管理者の経験 (類似施設・空調設備工事の実績) ➢ 現場代理人・技術者の配置計画 ➢ 施工管理体制 (安全・品質・工程) ➢ トラブル発生時の対応フロー ➢ 発注者との協議体制 (定例会議の頻度など) ● バックアップ体制が適切か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 緊急時の対応力 (休日対応、トラブル対応) ➢ 施工後の保守・点検体制の提示 ➢ 企業としての支援体制 (技術部門・安全部門の支援) 	25	様式 4-3
設計・施工スケジュールの実施可能性	<ul style="list-style-type: none"> ● 短期間での導入に対応した計画か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 工程表が詳細かつ具体的に示されているか ➢ 機器納期を踏まえた工程になっているか ➢ 代替案 (納期遅延時) の提示があるか ● 資材調達・機器納期の見通し <ul style="list-style-type: none"> ➢ 納期確保の根拠や調達計画の現実性を評価できるか ● 学校行事及び体育館利用者への配慮があるか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 行事や利用を避ける工事調整案があるか ➢ 騒音・粉じん・安全確保の対策が具体的か ● 工期管理の工夫があるか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 進捗管理方法 (週次会議、日報、工程管理ツールなど) が明確か ➢ 発注者との協議体制 (定例会議の頻度) が明確か 	25	様式 4-4
地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内事業者の参加 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市内企業が元請・下請としてどの程度参画 ● 市内事業者の活用 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地元企業の強みを活かした役割設定 	15	様式 4-5

	<ul style="list-style-type: none"> ●地域経済への波及効果 ➢維持管理段階での地元企業の継続的関与 		
--	--	--	--

(イ) 整備内容に関する評価 (計 190 点)

評価項目	評価の視点	配点	対応様式
空調設備等の性能・機能	<ul style="list-style-type: none"> ●快適性の確保 ➢場所による温度差の抑制性能 ➢湿度コントロールの精度 ➢結露対策の有無 ●操作性の向上 ➢タッチパネル等の操作の分かりやすさ ➢職員室からの一括操作が可能か ➢学校教育活動以外の利用者を考慮した操作が可能か ➢スケジュールタイマー等の運転管理機能 ●故障時の影響範囲の最小化 ➢故障箇所の自動診断機能 ➢モジュール化された構造 (部分交換が可能か) ●トップランナー機器の採用等 	40	様式 4-6
学校現場の特性に配慮した整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ●室内機・室外機の設置位置の妥当性 ➢生徒の動線と干渉しないか ➢メンテナンス時のアクセス性 ➢排気・吸気が周囲環境に悪影響を与えないか ➢既存建物への負荷 (重量・振動) が適切か ●防球・防音・防振・排熱対策 ➢防球ネット・ガードの設置方法の妥当性 ➢振動が建物構造に影響しない設計か ➢排熱が周囲の教室や通路に影響しないか ●受電設備等の計画・選定の妥当性 ➢既存設備を考慮した計画であるか ●空調気流の制御・競技適合性 ➢バドミントン・卓球などの競技に影響しない気流設計 ●静音性への配慮 ➢式典・演奏会などの静音要求への適合 ➢室外機の騒音が近隣に与える影響 ➢振動による建物共鳴の抑制 	45	様式 4-7
維持管理に関する配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●保守性の向上 ➢フィルター交換・清掃の容易性 ➢メンテナンスマニュアルの充実度 ●ライフサイクルコストの低減 ➢体育館の特性を踏まえた機器能力の算定 ➢年間電気料金の試算 ●緊急時対応の明確化 ➢故障時の連絡体制 (窓口・受付時間) ➢避難所利用時等の緊急対応 (停電復旧) 	30	様式 4-8

環境負荷軽減への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ性 <ul style="list-style-type: none"> ➢自動制御（CO₂濃度・外気温・人感センサー）の有無 ●長寿命化（更新頻度の低減） <ul style="list-style-type: none"> ➢機器寿命の長さ ➢部品交換の容易性 ●廃棄物削減・リサイクル配慮 	25	様式 4-9
災害時の避難所としての特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●迅速な運転開始 <ul style="list-style-type: none"> ➢運転開始手順の簡易さ（誰でも操作できるか） ➢起動時の負荷が小さく、発電機で運転可能か ●避難所としての快適性確保 <ul style="list-style-type: none"> ➢換気等感染症対策が可能か ➢大空間での温度ムラの少なさ 	25	様式 4-10
施工時の安全対策・学校運営への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ➢工事エリアの明確な区画（仮囲い・バリケード） ➢生徒の動線と工事動線の完全分離 ●騒音・振動対策 <ul style="list-style-type: none"> ➢騒音・振動を抑える施工方法の採用 ➢授業・部活動への影響を最小化する工事時間帯の設定 ●停電・断水時の配慮 <ul style="list-style-type: none"> ➢停電を伴う作業の有無とその時間帯の調整 ➢停電・断水が必要な場合の事前説明と代替策 	25	様式 4-11

(ウ) その他に関する評価 (計 20 点)

評価項目	評価の視点	配点	対応様式
創意工夫	●他項目にない独自の提案	10	様式 4-12
参加意欲	●本事業への積極性・誠実性	10	様式 4-12

(4) 価格点の算定方法 (25 点満点)

最も低い提案価格を 25 点とし、以下の式で算定する。

$$\text{価格点} = \frac{\text{最も低い提案価格}}{\text{当該応募者の提案価格}} \times 25$$

小数点第 1 位を四捨五入する。

(5) 総合評価点の算定

$$\text{総合評価点} = \text{内容点 (275 点満点)} + \text{価格点 (25 点満点)}$$

最も高い総合評価点の応募者を優秀提案者とする。同点の場合は価格点の高い者を優先し、それも同じ場合はくじ引きとする。

第 4 章 その他

審査委員会の運営に関する事項は、委員長が審査委員に諮って決定する。

審査過程における評価内容・採点結果の詳細は非公開とする。